

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム花の里

## 目標達成計画

作成日:平成 27年 3月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	特養の利用者の状況もある為、現状ホーム内の施錠を行っている。以前は施錠を行っていなかった為、今後に向けて、施錠をしない生活が実現できる取り組みに期待したい。	ご利用者がストレスなく、安心して自由に過ごす事が出来る環境を整えていく。	特養ご利用者は外出する機会が少なく、2階渡り廊下を散歩する事が楽しみとなっている。現状施錠しないとホーム内に入ってきてしまい、トラブルの原因やストレスを感じているご利用者もいる。特養職員と相談の上、まずは時間で区切り施錠をしない時間を交互で設ける様にしていく。	2ヶ月
2	10	ホーム独自の便りについて、写真とコメントである為、運営推進会議の内容も活用しながら、ホームの取り組みが家族により伝えることを期待したい。	運営推進会議の内容やホームの予定をご家族にお知らせし、参加出来ないご家族の方の意見を取り入れ、ホームでの取り組みに出来る限り参加して頂ける機会を設けていく。	グループホーム花の里独自の便りに運営推進会議の内容や花の里の行事予定を新たに加えた。	平成26年11月より内容を変更しました。
3	35	ホームは、複合型の施設である事を活かしながら、職員間で装置の使用方法等を確認しながら、事業所間の連携がより深まることを期待したい。	引き続き避難訓練を実施し、職員誰もが装置の使用方法を把握できる様にしていく。	引き続き避難訓練を実施し、装置等の使用方法は3ヶ月に1度確認していく。	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。